

## 平成26年度 第7回応用セラミックス研究所教授会議事要録

日 時 平成26年11月19日(水) 午前10時00分～午前10時55分

場 所 応用セラミックス研究所 1階会議室

出席者 伊藤所長、笠井、原、佐々木、東、河野、山田  
平松、谷山、鎌田、笹川、中村、佐藤、赤津の各教員

定足数の確認 現在員23名、公務欠席9名、定足基礎数14名、定足数10名、出席者14名で成立

### 配布資料

○平成26年度第6回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)

1. 平成27年度東京工業大学応用セラミックス研究所共同利用研究公募要領
2. 平成26年度学術講演講師
3. 年俸制適用職員の取扱い(案)
4. 「研究費の不正使用防止のための当面の取組方針」における「2. 物品納入等の経理面の改革」への対応(案)
5. 平成26年度定期監査(会計経理関係)の実施結果(7月～9月)の周知徹底について(依頼)
6. InCitesにおける本学等の研究力状況
- 7-1. 国立大学附置研究所・センター長会議 平成26年度第1部会議事要旨(案)
- 7-2. 国立大学附置研究所・センター長会議 第一部会 文部科学省説明(メモ)
8. 平成26年度第7回応用セラミックス研究所企画運営委員会議事要録(案)
9. 平成26年度第8回セラ研安全衛生委員会・第8回セラ研ブロック安全衛生委員会議事要録(案)
10. 第105回応用セラミックス研究所共同利用・研究支援室会議議事要録(案)

### 席上配布資料

- ・東京工業大学特別研究員称号付与申請書
- ・教員選考の方針について(案)

### 議事要録の確認

平成26年度第6回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)を承認した。

### 議 事

#### ○審議事項

1. 東京工業大学特別研究員の称号付与について

伊藤所長から、席上配付資料に基づき、東京工業大学特別研究員の称号付与(1件)の申請があった旨説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、研究期間が平成27年3月31日までとなっている理由は、規則により会計年度を超えることができないため、平成27年4月1日以降継続する場合は、あらためて審議を行うことになる旨、補足説明があった。

2. 平成27年度共同利用研究の募集について

笠井教授から、資料1に基づき、平成27年度共同利用研究公募要領の変更点として、文部科学省からの調査対策として、年齢と性別を記載する項目を新たに追加した旨、説明があった。なお、英語版には本項目は記載せず、受入教員が個別に確認することとした旨の補足説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### ○報告事項

1. 学術講演講師について

伊藤所長から、資料2に基づき、学術講演講師12名について報告があった。

また、第二期中期計画の報告にあたり、講演会等の参加人数を増やす術として、応セラ研の教員が関与する講演会等については、できるだけ応セラ研の協賛、共催とするよう依頼があった。

## ○諸会議報告

伊藤所長から、諸会議報告については所内のホームページに掲載しており、事前に確認していると思うので、質問があればこの場で受ける旨の発言があり、以下について報告があった。

### 1. 教育研究評議会（11/6）

#### 1) 年俸制適用職員の取扱いについて

- ・資料3に基づき、新規の任期付教員の公募を行う際は、年俸制を適用することを明記する必要がある旨説明があった。
- ・年俸制制度に関する説明会が11月21日（金）15時30分からJ2棟J221講義室で開催されるので、本制度に対する質問等がある場合は、ご参加いただきたいとの発言があった。

### 2. 部局長等会議（10/17、11/6、11/17）

#### 1) 「研究不正防止のための当面の取り組み方針」における「2. 物品納入等の経理面の改革」への対応（案）について

- ・資料4に基づき、同（案）のうち、特に研究室に直接関連するものとして、発注簿・発注票の学内統一化、物品等請求システム使用者登録の見直し、教員発注上限額の見直し、検収方法等の見直し、換金性の高いパソコン等の管理方法の見直し等について概要説明があった。

これに対し、大学として、不正防止及び取締りを専門とする専任の職員を配置した学内部署を新設すべきとの意見があった。

#### 2) 平成26年度定期監査（会計経理関係）の実施結果（7月～9月）の周知徹底について

- ・資料5に基づき概要説明があり、同種の指摘を受けることがないように、注意喚起があった。

#### 3) 研究力の強化について

- ・資料6に基づき、東工大の研究力が低下している旨の説明があった。

#### 4) 教員選考の方針について

- ・席上配布資料に基づき、教授、准教授、講師の選考の方法（案）として、部局の教授会では選考委員会の設置は必要なくなり、選考結果に対する可否投票も行わない旨説明があった。また、助教の選考方法（案）について概要説明があった。

#### 5) 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について

- ・博士課程の収容定員充足率が低下してきており、充足率90%を満たしていない場合は、授業料相当額の返納の可能性がある旨説明があった。

### 3. 5部局長懇談会（11/7）

#### 1) すずかけ台外周道路整備について

- ・平成27年1月から工事が始まり、これに伴い、駐車スペースが減少するため、入構パスカードの発行について、制約がかかる可能性がある旨。説明があった。

#### 2) すずかけ台キャンパス案内板等改修について

- ・すずかけ道入り口右側の案内看板を撤去し、新たに正面に設置する。

#### 3) すずかけ台通路国道246号線下植栽計画について

#### 4) 平成26年度総理工「GENKI支援事業」の実施について

#### 5) シダックスフードサービス(株)との契約中途解約について

- ・すずかけ台については、平成27年2月13日で営業を終了する。

### 4. 5研究所長懇談会（11/6）

#### 1) 四大学連合文化講演会に関する経費負担について

- ・現在、各研究所で負担している80万円を大学負担としてもらうべく、要望書を4研究所でまとめて提出することとした旨説明があった。

5. 国立大学附置研究所・センター長会議第1部会（10／10）
  - ・資料7-1、7-2に基づき概要説明があった。
  
6. 企画運営委員会（11／5）

伊藤所長から、資料8に基づき、以下の事項について説明報告があった。

  - 1) 教員選考の状況について
  - 2) 所長選挙投票管理委員会の設置について
    - ・平成27年4月から部局長の選考は学長指名となるため、投票管理委員会の設置は不要となる旨、説明があった。
  
7. 応用セラミックス研究所安全衛生委員会・応用セラミックス研究所ブロック安全衛生委員会（11／12）

伊藤所長から、資料9に基づき、以下の事項について説明報告があった。

  - 1) 平成26年度すずかけ台地区防災訓練について
    - ・午後からの個別訓練は応セラ研が担当であったが、特に大きな問題はなく、無事終了した旨、報告があった。なお、反省点としては、ヘリコプターによる救助訓練が急遽中止となったため、その後の訓練の時間が繰り上がったことにより、参加者が集まらなかったことが挙げられる旨、説明があった。
  - 2) すずかけ台地区安全衛生委員会について
    - ・他部局の産業医職場巡視において、水着の写真、カレンダー等が掲示されている事例があったがこれはセクシャル・ハラスメントにあたるので、撤去するよう指摘があったことが報告された。
    - ・他部局の廃液の処理において、k(CN)以外の廃液容器でシアンが検出されたので、分別を徹底するよう注意喚起があった。
  - 2) 産業医による職場巡視結果について
    - ・指摘事項に対する改善対策について報告する際、改善前と改善後の写真を添付することになっている旨説明があった。
  - 4) J1棟入り口の認証システムの導入について
    - ・J1棟にICカード認証システムが導入される旨、説明があった。
  
8. 共同利用・研究支援室会議（11／5）

伊藤所長から、資料10に基づき、以下の事項について説明報告があった。

  - 1) 平成27年度共同利用研究募集要項の発送について
    - ・12月初旬にメールと郵送にて発送予定。
  - 2) 秋のニュースレター発行について
  - 3) 第2回材料構造講演会について
  - 4) SSH小松高等学校見学会について
  - 5) ニュースレターの新デザインについて
  - 6) 学術講演講師の状況について

以 上

